

県立岐阜北高等学校の校訓とスクール・ポリシーの実現

令和6年1月23日
第10回高等学校教育の在り方
ワーキンググループ
資料 3 - 1



校章(1949年制定)

校訓
変わらぬ色の三つ柏
若き生命
高き志操
ペンの象る
英知をもちて

1949年(昭和24年)に校章を制定。
3つの柏は、統合した岐阜市立高等学校、
岐阜市立農業高等学校、岐阜市立女子高等
学校を意味する。
30年後の1979年(昭和54年)に、校章を説明
したこの言葉を「校訓」として正式決定した。

- 所在地 岐阜市則武清水
- 課程 全日制普通科(単位制)
- 歴史 1941年岐阜市立中学校として設置
- 生徒数 1072名(男子513名、女子559名)
1学年9クラス



校訓・校章の柏（かしわ）の由来

歳寒、然後知松柏之後彫也

（としさむくして、しかるのちに しょうはくのしばむにおくるるをしるなり）
（訳） 気候が寒くなってはじめて、松や柏が枯れないで残っていることを知る。



危機の時にこそ人の真価が分かる



生徒有志による朝の雪かき



コロナ禍下の授業のリモート配信



コロナ禍下の登校風景



若き生命(いのち)

北高祭(体育祭)

北高祭(文化祭)



部活動

沖縄修学旅行



硬式野球部
21世紀枠県代表の候補に

放送部
NHK杯放送コンテスト優勝



高き志操 「北斗」

生徒会機関誌の「北斗」(昭和42年創刊)が起源。
生徒会が全校生徒に公募して決定。

「泰山北斗」は「誰もが仰ぎ見る存在」の意味がある。

創立50周年を機に同窓会の名称「北斗会」となる。

50周年記念碑
「北斗の指標」





ペンの象る英知を持ちて

授業風景



自習室



大学入試共通テスト



＜令和5年度大学合格実績＞

国公立大学合格 226名

東京大1、京都大2、東北大2、
大阪大5、名古屋大22、
岐阜大49、金沢大8、広島大7
など

私立大学合格 1046名

慶応義塾大4、早稲田大7
立命館大123、南山大115 など

岐阜北高校「スクール・ポリシー」の策定プロセス

～新教育課程の導入と創立80周年を契機に～

背景

- 校内の課題感
- 探究的な学びの検討
- CD(カリキュラム・デザイン)部新設

- 単位制への移行(平成31年度～)
- 県教委研究指定(令和元年度～)
「地域共創フラッグシップハイスクール」
- 新教育課程導入(令和4年度～)

2019年度(令和元年度) 校務分掌にCD(カリキュラム・デザイン)部を設置

4～9月 「北高活性化プロジェクト」発足

準備

11月 がやがや会議(教員+生徒有志)

情報収集

11月～2月 教職員が整理

生徒が「スクール・ポリシー」のベースを策定

教職員がブラッシュアップ

検討

3月 「グラディエーション・ポリシー(GP)」

決定

2020年度(令和2年度)

4月～ 「カリキュラム・ポリシー(CP)」の策定

検討

11月 岐阜北高校創立80周年記念式典

校内外への宣言

学校評議員会・学校運営協議会での委員意見(抜粋)

●校内の課題感

平成30年度～

- 進学の話が中心となりがちであるが、**人としての在り方**、**相手を認めること**など、**感性を育てる**ことも同じように力を入れてほしい。
- 人間性**に軸足を置いた指導もしっかりやってほしい。
- 今、世界は急速に変化しているので、**不確実性の時代**を**生き延びる**のは、**自分で情報を得て、思考し、役割を果たしていく**ことが実際に「できる人間」である。「どう生きるんだ？」と投げかけること。**自分で決定**できて**打たれ強い**人になる。これからは、**問題解決能力**がある人しか生き残れない。何度でも**チャレンジ**できる人が本当に役に立つ人となる。**世界に目を向けて、実践力**ある生徒を育てていただきたい。
- これからも根っ子の部分を育てる教育を行って送り出してほしい。仕事を進めていく上で、**意欲と協調性**があることがとても大切である。
- 高校生は、感受性が強い時期である。今、求められる力は**多様化**している。貧困、差別、性の多様性など、**社会的現象に生で触れる**ことが大切。有名大学だから行くのではなく、こういうことをやりたい、勉強したいから行く。体が震えるような若者の**感動**が大切。**行動力**をつける機会は大切。
- グローバルな視野**に立って進めてほしい。特に**知に貪欲**になり、目の前の大学入試等にとらわれるのではなく、自分の適性を考え**人生を拓いていく**生徒を育ててほしい。

「スクール・ポリシー」策定プロセス 「北高校活性化プロジェクト」

がやがや会議

生徒・教員の声 ＜キーワード＞

- ・ 自主性 自発性
- ・ 自立 行動の選択
- ・ いろいろな体験
- ・ 社会とのつながり
- ・ あいさつ 積極性
- ・ 探究
- ・ ゆとりあるカリキュラム
- ・ 宿題の質・量の適正化
- ・ 受験に直接関係ないことも...

情報収集



岐阜新聞 令和元年11月30日(土) 朝刊

岐阜北高ならではの学校運営へ 教育方針を練る 教員と生徒一丸

岐阜市則武清水の岐阜北高校が、教育方針「スクールポリシー」の策定を進めている。教職員と有志生徒が母校の特色を生かした学校運営を考えるプロジェクトとして、進学校としての伝統に加え、新しい特長をつくるという試みで、県内の高校では先駆的という。

（村瀬真未）

政府の教育再生実行会議 野島副議長ら5人の教員が今年5月、安倍首相 野が今夏、プロジェクトに提出した提言に、普通科 原案をつくり、さらに長期高校で独自の教育理念に基づいた「スクールポリシー」の策定の義務が盛り込まれた。策定後は、ポリシーに沿った学校独自の教育課程の編成、大学入試に固執しない意の枠組み創設を求めたり、各学校の具体的な施策が注目される。

岐阜北高は、本年度の1年生に単位制を導入するなど、昨年からの改革に着手していた。中心となった日比

同委員会は、理想の生徒像を明文化しようと、全教員と、2年生の有志計70人で「がやがや会議」を開催。その後、集約した意見を「野」「探究」などのテーマを軸にして、スクールポリシーの案案を

授業6限化、探求学習に生かす

決めた。今後は7限が基本だった授業の時間を限に減らすことや、探求学習の計画、学校行事の改革などにも、生徒の意見を生かしていくという。

会議に参加した2年の川橋君さん16は「年齢や性別を問わず、生徒の新しい価値を見せたい」とプロジェクトの意義を説明した。

見を聞き、学校の仕方に対する考えが深まったと話した。高木副校長は北高が培ってきた進学実績に影響が出たのではと二の足を踏んだが、高校の新しい価値を見せたい」とプロジェクトの意義を説明した。

「がやがや会議」で理想の生徒像について意見交換する教職員や生徒ら
—岐阜市則武清水、岐阜北高校

「北高校活性化プロジェクト」**検討**

がやがや会議の意見整理→育みたい力→【キーワード】

(1) 自己の哲学の基礎を築き、粘り強く取り組める

- ・論理力
 - ・正しく読む
 - ・構成力
 - ・読解力
 - ・ねばる力
 - ・忍耐力
- 【自分を啓く】

(2) 自ら主体的・創造的に探究できる

- ・行動力
 - ・創造力
 - ・思考力
 - ・分析力
 - ・建設的判断力
 - ・探究力
- 【自ら拓く】

(3) 多様な他者と協働し、課題解決できる

- ・要約力
 - ・行動力
 - ・表現力
 - ・伝える力
 - ・外交力
 - ・言語力
 - ・発信力
- 【ともに拓く】

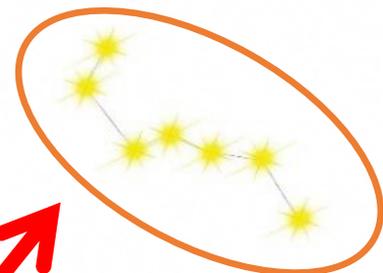
(1) グラデュエーション・ポリシー (GP) **決定**

育成を目指す **資質・能力**に関する方針

北斗 (高き志操)

「荒野をひらく探究人」

自分を啓く



(1) 自己の哲学の礎を築き、
粘り強く物事に取り組める **ともに拓く**
人材を育成します →【**自分を啓く**】

(2) 「知」に貪欲になり、
主体的・創造的に探究できる
人材を育成します →【**自ら拓く**】

(3) 多様な他者と協働し、
課題解決できる
人材を育成します →【**ともに拓く**】

自ら拓く



ペンの象る
英知を持って

荒野をひらく探究人

「岐阜北高校への期待」 北斗会会長 中村源次郎氏 祝辞
 「今我が国に求められているのは、時代の標準となるものの見方、考え方を変える**「パラダイムシフト(=価値観の革新的な転換)」**です。この80周年を機に、このことを**学校のミッション**と心掛け、**世の為人のために役立つ教育を施す岐阜北高校**として、大きく羽ばたくことを期待しています。

「岐阜北高校の進べき方向性」 校長 鈴木 健 挨拶
 将来にわたり持続可能な社会の担い手である子どもたちは、**新たな価値を生み出しながら未来を切り開いていく**ことが期待されています。**グローバルな視野**を持ちながら、**主体性を持って、多様な価値観を持つ他者と協働し、課題を発見し、解決策を見出し、具体的に行動できる資質や能力**が求められています。そのためには…

超少子高齢社会 グローバル競争
 Society5.0 AI 地球温暖化 エネルギー
 問題、脱炭素社会…



(2)カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成及び実施に関する方針

～「社会に開かれた教育課程」による「探究人」の育成～

- (1) 必修科目及び「思考力」「判断力」「表現力」を重視する共通テスト対象科目をコア科目(必須科目)として発達段階に応じて配置
- (2) 生徒の進路志望や興味関心に対応し、学校設定科目を含む多様な選択科目の充実
- (3) 「総合的な探究の時間」を通して、地域の課題解決など、自らテーマを設定して探究する学びの推進
- (4) 各教科等においては、実社会との接点や教科横断的な学びを重視し、「対話的」で「探究的」な「深い学び」の実践
- (5) 生徒1端末等のICT環境や、「県指定事業」を利用して、地域や外部機関との積極的な連携と協働



(1) 必修科目及び「思考力」「判断力」「表現力」を重視する共通
テスト対象科目をコア科目(必須科目)として発達段階に応じて
配置

(2) 生徒の進路志望や興味関心に対応し、学校設定科目を
含む多様な選択科目の充実

	語	化	古	古	地	公	数	数	数	化	選	体	保	英	論	時	33	北斗リーダーズプラン																	
2年次	文系 論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	数学C	化学基礎	選択①	体育	保健	英語 コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	ホームルーム	自由選択①	海外異文化交流																	
	理系 論理国語	文学国語	古典探究	公共	数学Ⅱ	数学B	数学Ⅲ	数学C	化学基礎	化学	物理 生物	体育	保健	英語 コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	ホームルーム	自由選択①																	
3年次	文系 論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	政治経済	選択②	選択③	選択④	選択⑤	体育	英語 コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	ホームルーム	自由選択②																					
	理系 論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	数学Ⅲ	必須選択科目				物理	体育	英語 コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	ホームルーム	自由選択②																				
単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	先端科学講座	

自由選択科目

選択①	選択②	選択③	選択④	選択⑤	自由選択①	自由選択②
<ul style="list-style-type: none"> 生物 時事英語 数学A 読解国語 インテンシブリーディング 記述国語 	<ul style="list-style-type: none"> 論理国語 実用国語 物理基礎 生物基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 記述数学 英語コミュニケーションⅢ 	<ul style="list-style-type: none"> 数学C 古典探究 	<ul style="list-style-type: none"> 化学 化学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 生物 論理国語 基礎 生物基礎 実用国語 記述国語 インテンシブリーディング 	<ul style="list-style-type: none"> 最難関挑戦Ⅰ 音楽Ⅰ 難関挑戦Ⅰ 美術Ⅰ 体育 書道Ⅰ 英語プレゼンテーション 情報演習
					<ul style="list-style-type: none"> 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ 英語プレゼンテーション 情報演習 	<ul style="list-style-type: none"> 最難関挑戦Ⅱ 音楽Ⅰ 難関挑戦Ⅱ 美術Ⅰ 体育 書道Ⅰ 英語プレゼンテーション 情報演習

(2) 生徒の進路志望や興味関心に対応し、学校設定科目を含む多様な選択科目の充実

学校設定科目(自由選択科目)



(1) 海外異文化交流 (オーストラリア姉妹校交流)



(2) 先端科学講座(宇宙工学講座)



缶サット(人工衛星)の制作で1月に
全国大会(鹿児島県)に出場予定

(3) Global Studies Program (グローバル・スタディーズ・プログラム)



日本の大学に留学中の院生を講師
としてオールイングリッシュで国際
的課題を討議し発信する

(3)「総合的な探究の時間」等を通して、地域の課題解決など、自らテーマを設定して探究する学びを体系的に計画します。

総合的な探究の時間(1年生)

2年次へ

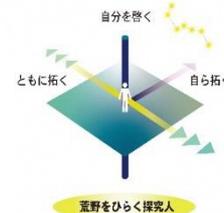
SDGsに関する探究
(世界で起きていることを知り、その解決策を考えよう)

SDGs



1年次

総合探究を通して、**スクール・ポリシー**に示された資質・能力の育成を目指す



岐阜北高校スクールポリシー



(3)「総合的な探究の時間」等を通して、地域の課題解決など、自らテーマを設定して探究する学びの推進

総合的な探究の時間(2年生)

SDGsの各分野に関わる研究課題を設定し、チームで調査研究、その成果をまとめてプレゼンをする。

オリエンテーション・課題設定・研究調査



JICA(国際協力機構)参加者や岐大院生からもアドバイス受ける



中間発表



探究論文発表会



優秀論文に選ばれた6チームが学年全体の前で研究成果の発表と表彰受ける(1月)

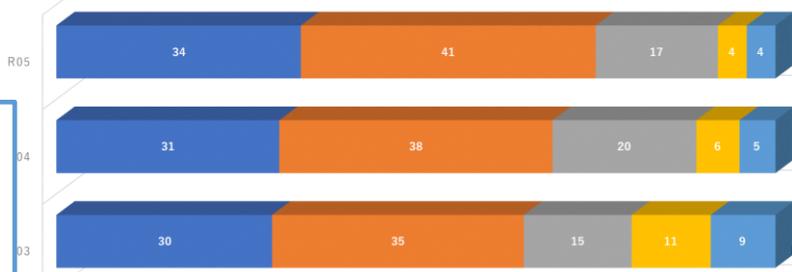


ネイティブの留学生に研究成果を英語でプレゼン、意見交換(11月)



Q: 総合的な探究の時間の内容は自分にとって有意義である

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない
■ まったくあてはまらない ■ わからない



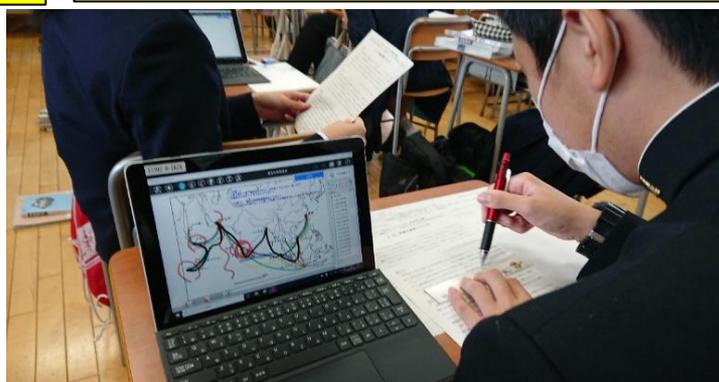
(4) 各教科等においては、**実社会との接点**や**教科横断的な学び**を重視し、**「対話的」**で**「探究的」**な**「深い学び」**の実践



(5) **生徒1端末等のICT環境**や、「**県指定事業**」を利用し、**地域**や**外部機関**との積極的な**連携**と**協働**

電子黒板(令和元年～)

生徒1端末(令和2年～)



グループ討議、タブレット活用した調査・集計、教員相互の授業参観、生徒による授業評価、授業改善のための職員研修…

(5) 生徒1端末等のICT環境や、「県指定事業」を利用し、
地域や外部機関との積極的な連携と協働

予算的な支援

県教委指定事業＝「グローバル探究実践事業」(R4～)

文系・理系の枠に捉われない探究的な学び(STEAM教育)を通じて、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力の育成を図る。(上限 200万円)

(参考) 県教育委員会「ふるさと教育」の展開(岐阜県教育振興基本計画)

➤ 急激な生徒減少期において、高校の教育水準を確保し、教育機会を保障するため、高校の特性に応じた高校活性化の取組を展開。 **令和5年度予算**

● **グローバル探究実践事業 (7,500千円)** …本校を含めた県内7校を指定

● 地域共創フラッグシップハイスクール事業 (19,000千円) …4校

● 理数教育フラッグシップハイスクール事業 (11,500千円) …5校

● 地域課題探究型学習推進事業 (8,480千円) …13校

● 地域連携による活力ある高校づくり推進事業 (11,960千円) …19校

● 地域産業の担い手育成総合戦略事業 (12,400千円) …6校 + α

(5) 生徒1端末等のICT環境や、「県指定事業」を利用し、
地域や外部機関との積極的な連携と協働

東京大学研究室等見学ツアー（毎年8月実施）



希望者参加



名古屋大学出前講座（年4回実施）



岐阜青年会議所
まちづくり運動への参加



JCI Junior Chamber International Gifu
公益社団法人 岐阜青年会議所

(5) 生徒1端末等のICT環境や、「県指定事業」を利用して、
地域や外部機関との積極的な連携と協働



同窓会(北斗会)からの支援

「北斗『志』援プロジェクト」(令和2年度～)

外部機関が主催するプロジェクトや研修、大会に参加する生徒に参加費や交通費を支援するしくみ

「海外留学等支援基金」(令和5年度～)

長期・短期の海外留学や研修プログラムに参加する生徒に費用の一部を補助するしくみ(令和5年度は生徒46人に計約150万円を交付予定)

卒業生による専門分野の研究支援(令和5年度～)

東大宇宙工学科に在籍する同窓生が研究と教育を目的とする一般社団法人を立ち上げ、自然科学部の「缶サット」研究にWebで定期的に指導助言。令和6年度から「総合的な探究の時間」にも関わる予定。

同窓会のロゴ



(5) 生徒1端末等のICT環境や、「県指定事業」を利用し、**地域や外部機関との積極的な連携と協働**

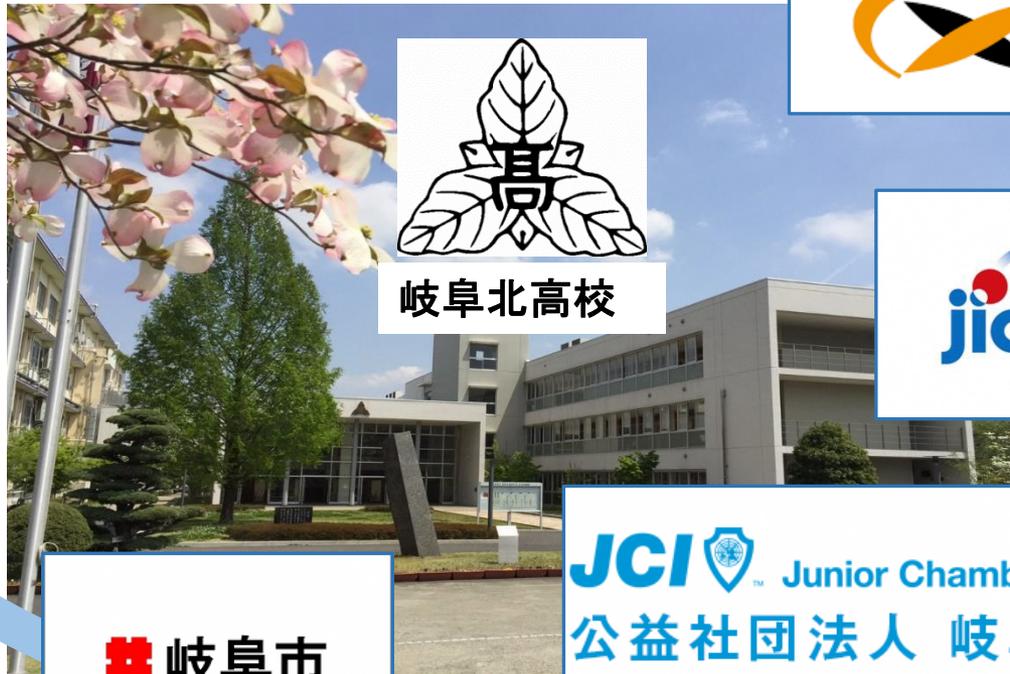
外部機関との連携



同窓会(北斗会)



岐阜県



岐阜北高校

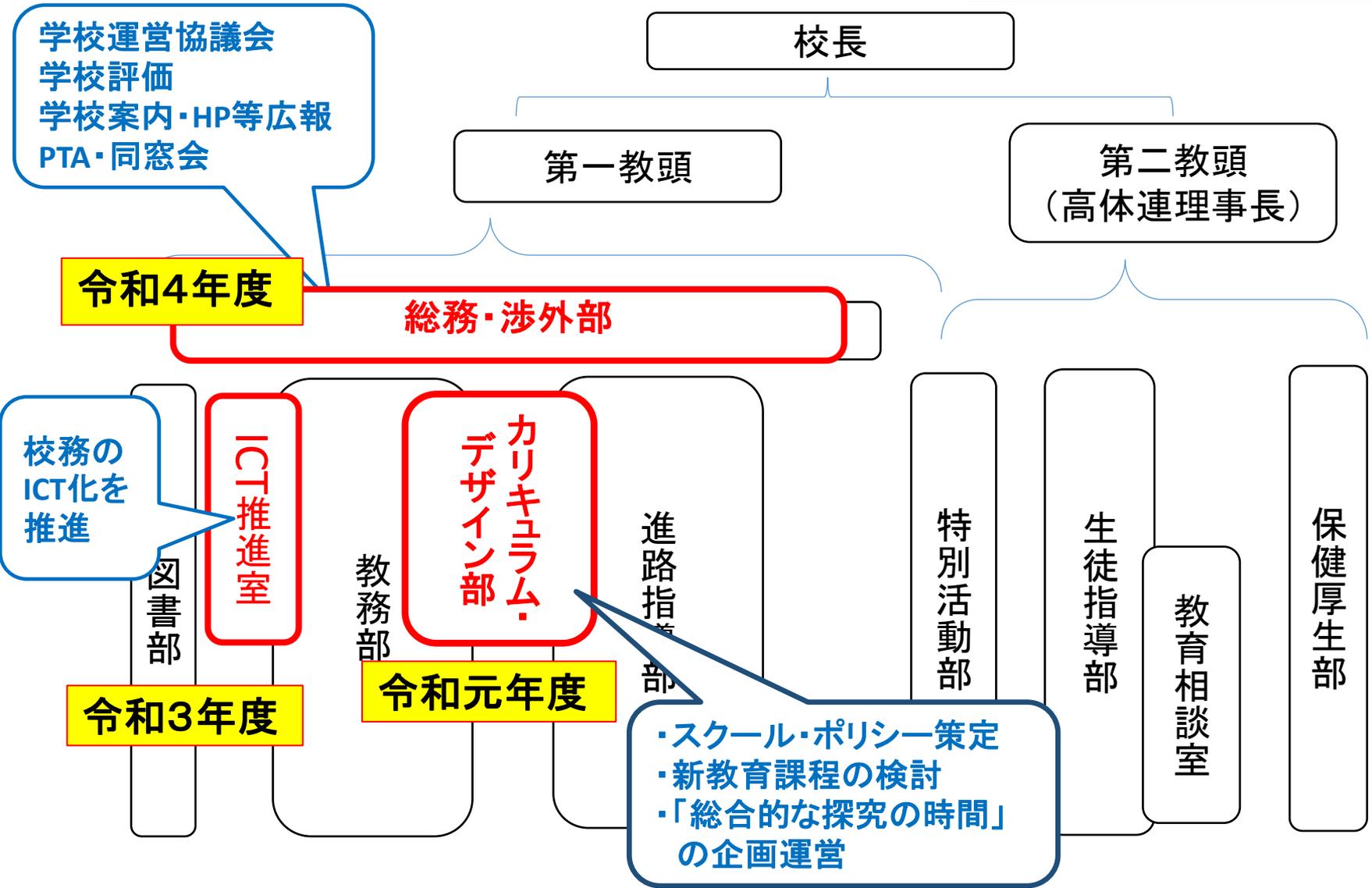


岐阜市



スクール・ポリシーの実現のしくみ1 (校内組織の再編)

令和元年度→5年度



スクール・ポリシーの実現のしくみ2 (学校経営のPDCAサイクル)

学校運営協議会



がやがや会議



- がやがや会議四カ条
- 一. 生徒と先生が互いに尊敬すること
 - 一. 生徒は相手が先生だからと委縮しないこと
 - 一. 先生は立場を利用して意見を述べず柔軟に考えを述べること
 - 一. 合理的な話し合いをすること

第1回職員会(4月)

Plan

スクール・ポリシー踏まえた
学校経営計画・校内組織・年間行事計画

第2回職員会(4月)

各分掌の方針と重点 (具体的施策)

第1回学校運営協議会 (5月)

学校経営計画の基本的方針を承認

生徒・保護者アンケート(7月)

Check

Do
教育活動

第2回学校運営協議会 (10月)

進捗状況の中間報告、意見聴取

がやがや会議(11月)

職員アンケート(11月)

振り返り職員会(12月)

Check 自校評価 (12月)

学校関係者評価 (1月)

第3回学校運営協議会 (1月)

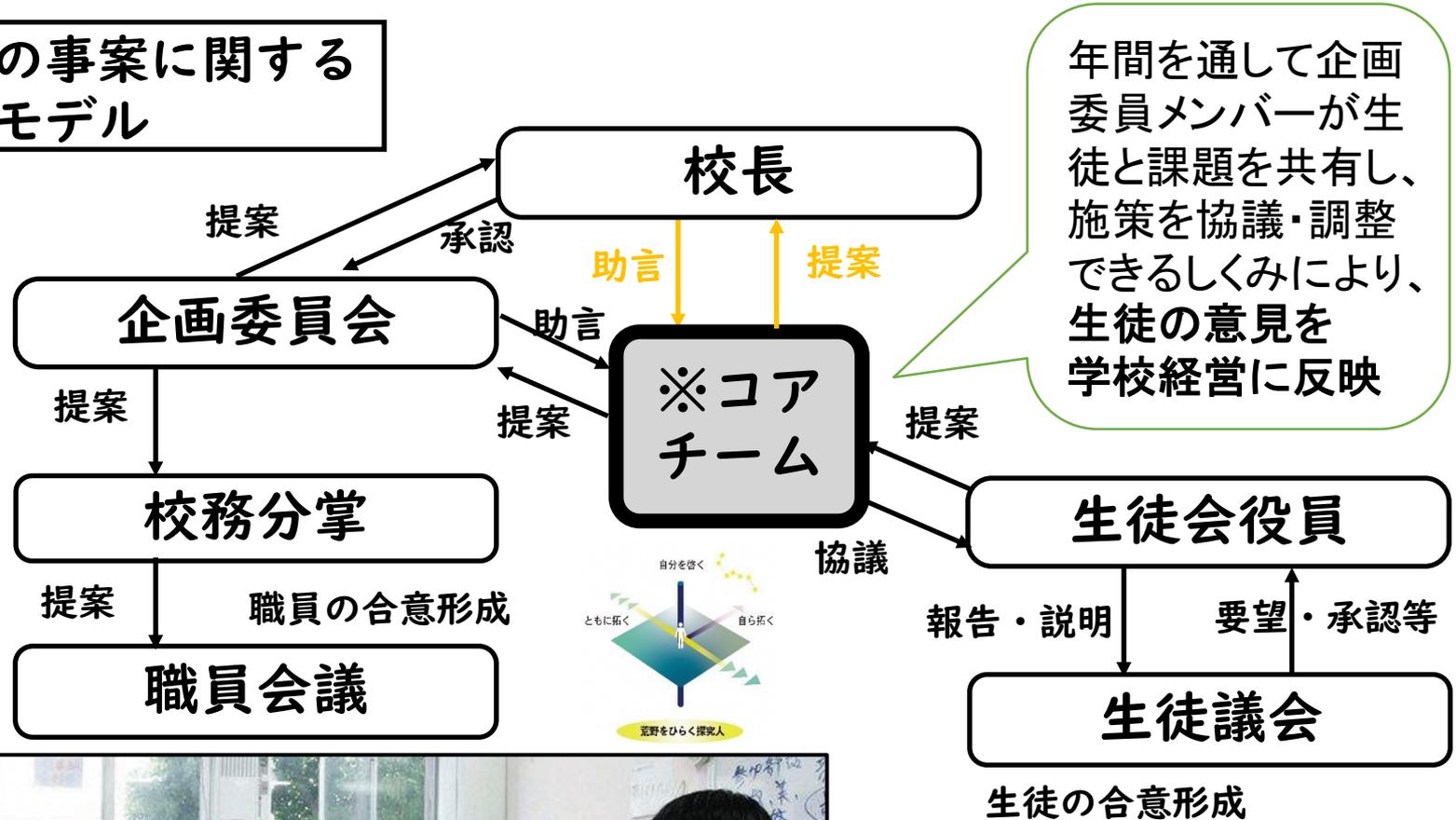
今年度の成果と課題、評価、次年度提言

Action

次年度の学校経営計画・校内組織・年間計画の策定

スクール・ポリシーの実現のしくみ3 (生徒会との連携のしくみ)

生徒発案の事案に関する
意思形成モデル



※コアチーム
企画委員メンバー(特活部長・CD部長等)と生徒会代表者が意見交換や調整をする場